

お知らせ

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ 化学フェスタ 2026 開催のお知らせ

化学フェスタ実行委員会

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ 化学フェスタ 2026 を、10月20日(火)～22日(木)の日程で東京都江戸川区タワーホール船堀にて開催します。「CSJ 化学フェスタ」は2011年の第1回開催以来、多くの方々にご評価いただいております。昨年は約2,700名の方々にご参加いただきました。今回も開始当初からの趣旨・目的である「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」に沿って、参加して良かった、次回も楽しみだ、周りの人も誘いたいと言われるような企画を計画、実施します。産学官の三者にとって、様々な角度から議論と情報交換ができるのはもちろんのこと、化学を通じた人的交流の機会を提供できるよう準備を進めていきますのでどうぞご期待下さい。最新情報は、ウェブサイトでご確認下さい。

記

会期	2026年10月20(火)～22日(木)		
会場	東京都江戸川区タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4-1-1)		
実行委員長	加藤隆史 (信州大学/岡山大学/東京大学名誉), 山田泰司 (花王)		
重要な日程	ポスター発表・R&D 展示募集期間	6月1日～7月2日 (予定)	※詳細は本誌6月号
	早期参加申込期間	8月3日～9月9日 (予定)	※詳細は本誌6月号
	通常参加申込期間	10月1日～会期当日 (予定)	※詳細は本誌6月号
	プログラム公開 (Web)	8月3日 (予定)	
	予稿集発行 (Web, 冊子)	9月24日 (予定)	
問合せ先	日本化学会 企画部 矢部・田中・久後・河瀬 E-mail: festa@chemistry.or.jp URL: https://festa.csj.jp/2026/		

第20回 PCCP Prize 受賞者の決定

日本化学会運営会議

Royal Society of Chemistry (RSC; 英国王立化学会) が発行する学術誌 PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) および Faraday Discussion では、「PCCP Prize」を設けています。本会は RSC の協力依頼を受け、理事会承認の下、2007 年より毎年、数名の受賞候補者を公募しています。

今年度も『日本化学会ディビジョン』に該当候補者の推薦を依頼し、1月下旬に「PCCP Prize 選考委員会」(運営会議内に設置)を開催しました。今回は11ディビジョンから15件の推薦があり、研究課題、業績、成果発表の状況などを評価項目として、応募書類を慎重かつ厳正に審査し、その結果が理事会で承認されました。

第20回受賞者として下記3名が選出され、日本化学会第106春季年会(於: 日本大学理工学部 船橋キャンパス)にて表彰を行いました。



■浦谷 浩輝 氏 (京都大学 大学院工学研究科 分子工学専攻 助教)

■受賞題名: Mixed Quantum-Classical Approaches to Ultrafast Excited-State Dynamics of Complex Systems

[理論化学・情報化学・計算化学ディビジョン推薦]



■門田 健太郎 氏 (京都大学 大学院理学研究科 化学専攻 助教)

■受賞題名: Tailoring Labile Species in Metal-Organic Frameworks

[錯体化学・有機金属化学ディビジョン推薦]



■中村 圭佑 氏 (京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 特定助教)

■受賞題名: Multi-scale fabrication of hierarchical architectures in hydrogels with novel functions

[高分子ディビジョン推薦]

(詳細: <https://www.chemistry.or.jp/activity/international/20-pccp-prize.html>)

■選考対象・選考基準については以下のとおりです。

本会会員（ディビジョン登録者）で、物理化学、光化学、理論化学、無機化学、錯体化学・有機化学・有機金属化学、有機結晶、高分子化学、触媒化学、分析化学、電気化学、コロイド・界面化学、ナノテク・材料、などPCCPがカバーする領域で傑出した研究成果があり、将来の活躍が期待される若手研究者（受賞年2026年4月1日時点で満35歳未満の者）で、かつその成果の一部を自身が日本化学会第106春季年会で発表する者（口頭B講演および各種受賞講演・招待講演；ただし口頭A・ポスター講演は除外）。なお、日本化学会進歩賞との同時受賞はできない。

また、出産、育児、介護等により、合計3ヵ月以上の間研究を中断した者（性別を問わない）については、個別の事情に応じ1～2年程度、上記の年齢要件について配慮し、研究中断の個別の事情を踏まえ総合的に判断する。

■授賞の内容

上記3名の受賞者には、賞状（PCCP Prize Certificate for Outstanding Achievement of Young Scientists in Physical Chemistry and Chemical Physics）、賞金および副賞が授与されました。

2026年度他機関の賞・助成金の推薦候補者募集

運営会議

本会では、他の機関が贈呈する賞や助成金に対して、会員諸氏の優れた研究業績を推薦しています。本会を指名して推薦依頼があった下記につき、推薦を希望する会員各位は、申請財団所定の様式を用い、本会締切日までに一式をE-mailにてお送り下さい。申請者の業績内容を審査した上で、推薦候補者となられた方について推薦いたします。

なお、今年度の実施が未定のものにつきましては、昨年度の要項に準じて記載してあります。必ず関係機関に照会（締切日、受賞対象分野、助成金の趣旨および内容等）の上、必要書類を各自でご準備下さい。記載のないものにつきましては、**提出先締切日の2ヵ月前を本会締切日（必着）とします（応募書類は返却いたしません）。**

提出先 日本化学会 総務部「他機関賞」係
E-mail: soumu@chemistry.or.jp

2026年4月1日現在

賞名	授賞団体	本会推薦件数	提出先締切日	本会締切日（必着）	賞金/助成額等	申請資格
島津賞	(財)島津科学技術振興財団 〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1 TEL 075-823-3240 https://www.shimadzu.co.jp/SSF	定めなし	7月31日	5月29日	1件 賞状、賞牌、 副賞500万円	科学技術、主として科学計測に係る領域で基礎的研究および応用・実用化研究において、著しい成果をあげた功労者。 ※推薦を受けた候補者は2年間選考対象
島津奨励賞	同上	定めなし	7月31日	5月29日	3件以内 賞状、トロフィ、 副賞100万円	科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において独創的成果をあげ、かつその研究の発展が期待される毎事業年度の4月1日において45歳以下の研究者。 ※推薦を受けた候補者は2年間選考対象
上原賞	(財)上原記念生命科学財団 〒171-0033 豊島区高田3-26-3 TEL 03-3985-3500 https://www.uharazaidan.or.jp	1件	9月4日	7月17日	2件以内 正賞（金牌）、 副賞3,000万円	生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する次の分野において、独創的な内容の研究に従事し、本分野の研究の進展に顕著な功績をあげ、活躍中の日本人研究者。(A) 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般、(B) 基礎医学（上記以外）、(C) 臨床医学（同）、(D) 生命科学と他分野との融合領域（情報系、機械学、材料学など）。 ※文化勲章受章者、文化功労者、日本学士院賞受賞者は対象外
井上学術賞	(財)井上科学振興財団 〒150-0036 渋谷区南平台町15-15 南平台今井ビル601 TEL 03-3477-2738 https://www.inoue-zaidan.or.jp/	2件以内	9月18日	7月17日	5件以内 賞状、 金メダル、 副賞200万円	自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者で、その年の9月20日現在の年齢が50歳未満の者。女性研究者の積極的な推薦を期待。

内藤記念 科学振興賞	(財)内藤記念科学振興財団 〒113-0033 文京区本郷 3-42-6 南江堂ビル 8階 TEL 03-3813-3861 https://www.naito-f.or.jp/jp/index.php	1件	9月30日	7月17日	1件 金メダル, 副賞 1,000万円	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。加えて、本賞受賞を契機にして、今後とも当該研究テーマの進展ならびに後進の育成に、大きな成果と発展を期待し得る研究者。 ※文化勲章受章者、文化功労者、日本学士院賞、日本学士院恩賜賞受賞者は対象外
東レ科学 技術賞	(財)東レ科学振興会 〒103-0021 中央区日本橋本石町 3-3-16 日本橋室町ビル TEL 03-6262-1655 https://www.toray-sf.or.jp/	2件	10月9日	8月7日	2件 賞状, 金メダル, 賞金 500万円	学術上の業績が顕著な方、学術上重要な発見をした方、効果が大きい重要な発明をした方、技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方。年齢は問わず。多様性重視の観点から女性候補者の推薦を歓迎。 ※推薦を受けた候補者は2年間選考対象 ※文化功労者、日本学士院賞受賞者は対象外(ただし、新しい業績については対象)
東レ科学 技術研究 助成	同上	2件	10月9日	8月7日	10件程度 1件3,000万円程度 まで、総額1億3,000 万円	自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者(原則として推薦時45歳以下もしくは博士学位取得後10年以内)。本助成が重要かつ中心的な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。多様性重視の観点から女性候補者の推薦を歓迎。
藤原賞	(財)藤原科学財団 〒104-0061 中央区銀座 3-7-12 王子不動産銀座ビル 6階 TEL 03-3561-7736 https://www.fujizai.or.jp/	定めなし	12月15日	10月16日	2件 賞状、賞牌, 副賞 2,000万円	日本の国籍があり、かつ日本在住で、自然科学分野で科学技術の発展に卓越した貢献をした方。原則として個人を対象とする。
東京応化 科学技術 振興財団 研究費の 助成	(財)東京応化科学技術振興財団 〒211-0012 川崎市中原区中丸子 150 TEL 044-435-3116 https://www.tok-foundation.or.jp/	3件	1月15日	11月20日	13件程度 1件につき150万円 まで	化学の領域における基礎研究または応用研究を対象とし、その研究が先駆的独創的であり、成果が科学技術の振興に貢献することが期待され得るもので、研究の終了が概ね1年程度もの。公的機関所属の常勤研究者・技術者。なるべく若い方で新しい発想のもとにチャレンジされる方。
山田科学 振興財団 研究援助	(財)山田科学振興財団 〒544-8666 大阪市生野区巽西 1-8-1 TEL 06-6758-3745 https://www.yamadazaidan.jp/	8件	2月26日	1月15日	18件程度 1件につき150~ 300万円 総額 4,000万円	自然科学の基礎的研究に対する研究費の援助であり、実用指向研究は援助の対象としない。援助金を給与に充てることはできない。(1)萌芽的・独創的研究、(2)新規研究グループで実施される研究、(3)学際性、国際性の観点からみて優れた研究。当該研究者は研究代表者であることを必要とし、日本の研究機関に所属していること。多様性重視の観点から女性研究者の推薦を歓迎。 ※学会推薦の有無に関わらず、財団のシステムから申請が必要
江崎玲於奈 賞	(財)茨城県科学技術振興財団 〒305-0032 つくば市竹園 2-20-3 TEL 029-861-1205 https://www.i-step.org/index.html	2件以内	3月17日	1月15日	原則1名 賞状, 副賞 1,000万円, 記念品(賞牌)	日本国内の研究機関においてナノサイエンスおよびナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、新分野の開拓が期待できるとともに世界的に高い評価を得た研究業績をあげた研究者。

訃報

日本化学会会長 丸岡啓二

2025年度日本化学会副会長として本会の発展に多大なるご貢献をいただいた佐藤一彦氏の訃報に接しました。佐藤氏のご功績を偲び、心より哀悼の意を表し、併せてご冥福をお祈り申し上げます。

会員委員会からのお知らせ

〔日本化学会への入会勧誘のお願い〕

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

〔会員訃報のお知らせ：2025/12/16-2026/1/15〕

11名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

今西 幸男 小島 りか 甲斐荘正恒 金品 昌志 高田 雅介 中山 勝矢 西 忠昭 旗野 昌弘
林 貞男 弘岡 正明 山田 静之

化学だいすきクラブ事業醸金者ご芳名

(令和8年1月16日~2月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○20,000円 長田 健三
○5,000円まで 上野 雅晴

〔化学振興〕活動醸金者ご芳名

(令和8年1月16日~2月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○10,000円 長田 健三
○5,000円まで 井口 一成

〔化学と教育〕誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第74巻第4号)

ヘッドライン：市民として必要な基礎・基本の化学Ⅱ

——児童・生徒・学生の主体的な学びのための工夫

その他に、〔実験の広場〕、〔新・講座〕など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

〔個人〕

1) 日本化学会会員の方で、「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は、5,400円(年額)をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合せフォーム】からお申込み下さい。

【お問合せフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

- ①【お問い合わせ内容の種類 - Subjects】：「全般について」を選択
- ②【お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-subjects】：

〔【会誌】会誌の追加購読申込〕を選択

③【追加購読誌 - Journal Subscriptions】：「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は、教育会員(年間会費9,000円)として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は、当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>) から行って下さい。

〔団体〕

学校、図書館、官公庁等、団体として購読することもできます。公共会員(年間9,000円)に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。

請求先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

日本化学会総務部会員 G

電話(03)3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: member-support@chemistry.or.jp